

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自ら学び、伝え合う力を育てる指導方法の工夫
- 家庭と連携した自主学習・読書の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 井利元 香織	委員
	学校長 福田 康治 研修主任 井利元 香織
	低学年推進員 井利元 香織 中学年推進員 山脇 朋子 高学年推進員 栗田 佐知

校長

福田 康治



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いた学習環境の中で、授業中に指示された課題に真面目に取り組む学習できる児童が多い。 ●学力の二極化傾向がある。 ●語彙数が少なく、文を書いたり話したりすることが苦手な児童がいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける。 ・既習の知識と関連付けたり他の学習や生活に生かしたりすることができる。 ・豊富な語彙で書いたり話したりできる。	・学習内容や時間の構造化、情報伝達方法の工夫、ユニバーサルデザインの視点等を生かし、分かる授業・魅力ある授業を行う。(時間の流れを板書で視覚化。児童の思考のつまづきに応じた助言・ヒント。児童の考えを整理するためのツール・・・メモ・付箋・ホワイトボード・ノート等の活用)			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○方法や手順がはっきりと分かる学習では、見通しをもち意欲的に取り組むことができる。 ○友達と協働して学習することを好み、ペアやグループでの話し合いで自分の意見が言えるようになりつつある。 ●問題の要点をつかんだり、複数の情報の中から必要な情報を取り入れたりすることが苦手な児童がいる。 ●自己決定に自信がなく、全体の場で自分の考えを積極的に発表できない児童が多い。	・話し手の意図を捉えながら聞くことができる。 ・自分の考えの根拠を明らかにして、条件に沿って書くこと・話すことができる。 ・話し合い活動などを通して、課題解決の方法を考えることができる。 ・自ら課題を見出し、その解決に向けた方向性を考え、他者と協力し、必要な過程を計画・実行しながら解決まで導くことができる。	・授業で自分の考えを書く・話す時間を取り、伝えたいことを整理して話し合いをさせる。(ペア・グループ学習を含む。) ・児童の発言や発表の内容に応じ、「なぜ」「どうして」「それから」「たとえば」「もし～だったら」などの更なる発問を行い、児童の考えを整理したり深めたりする。 ・学校での体験活動やニュースなど機会を捉えてテーマを設定し、自分の考えを条件に沿って書いたり話したりさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○体験学習を好み、積極的に活動することができる。 ○家庭学習の習慣や、朝の読書の習慣が定着しており、与えられた課題については前向きに取り組むことができる。 ●自分のめあてをはっきりさせたり、自分の考えを客観的に捉えたりすることに課題がある。 ●自分から課題を見つけ、宿題以外の自主学習に取り組む児童が少ない。 ●難しい問題にねばり強く取り組むことができない児童、集中して学習するために支援の必要な児童がいる。 ●家庭学習の時間が十分に確保できていない。 ●家庭読書の時間が短い。 ●オンラインゲーム等をスマホやタブレットで遊ぶ時間が長い。	・学習課題や自主学習のめあてを考えた、学習の見通しをイメージしたりしながら学習に取り組むことができる。 ・学習課題について自分の問いをもち、自ら働きかけ、課題を見出して解決していくことができる。 ・課題解決の経験を通して、分かる楽しさやできる楽しさを体感し、学習に対し自信や意欲をもつことができる。 ・学習の見通しをもち、粘り強く取り組むとともに、自らの活動を振り返って学習の成果や課題を今後の生活や学習につなげることができる。	・何を・なぜ・どのように・学ぶのが児童に伝わるように授業や自主学習のめあてを提示する。 ・授業や自主学習で、多様な意見や考えが生まれるような学習課題を設定する。 ・難易度・分量など個人の習熟度に合わせて、宿題や自主学習に取り組ませる。 ・「自主勉強の手引き」を作成し、定期的に自主勉強ノートを評価することで、意欲が持続できるようにする。 ・「家庭学習の手引き」を全校児童に配付し、家庭と連携しながらノーゲームデーを推奨し、家庭読書の時間を確保する。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

